

気候変動時代における市町村による新たな森林管理とゾーニング



日時

令和4年11月20日(日)
13:00~15:30
オンライン開催

開催趣旨

2019年に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」と「森林経営管理法」が成立し、市町村が主体となった地域の森林管理が推進されることになった。本シンポジウムでは、温暖化対策や地域づくり、国土利用計画など多様な視点から森林の管理やゾーニングのあり方について議論する。

総合司会: 田中 和博

開会挨拶: 丹下 健 (日本学術会議第二部会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

趣旨説明: 田中 和博 (日本学術会議特任連携会員、京都先端科学大学バイオ環境部教授)

基調講演 「市町村による新たな森林管理の時代を迎えて」

土屋 俊幸 (東京農工大学名誉教授)

パネルディスカッション

進行: 井上 真理子 (日本学術会議連携会員、森林総合研究所多摩森林科学園主任研究員)

コメンテーター: 田中 和博

話題提供

緩和策と適応策の視点による森林ゾーニング
森林経営の視点による森林ゾーニング
減災・防災の視点による森林ゾーニング
市町村による森林管理の現状と課題

森 章 (日本学術会議連携会員、東京大学先端科学技術研究センター教授)
光田 靖 (宮崎大学農学部教授)
徳地 直子 (日本学術会議連携会員、京都大学フィールド科学教育研究センター教授)
和田 透 (岐阜県郡上市農林水産部林務課長)
河合 智 (郡上森林マネジメント協議会事務局次長)

閉会挨拶: 杉山 淳司 (日本学術会議連携会員、京都大学大学院農学研究科教授)

○主催: 日本学術会議農学委員会林学分科会 ○後援: 一般社団法人日本森林学会、一般社団法人日本木材学会

○申込: tange@fr.a.u-tokyo.ac.jpへ、氏名・所属・アドレスをお知らせ下さい (11月15日(火)締切)